

2017年9月5日
株式会社パスコ

(報道資料)

国土交通省「歩行空間のバリアフリーに関する情報をデータ化するツール」を提供 パスコはツールを共同開発し、普及と活用促進に協力します

国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向けて、例えば、車いすの方が通行できるバリアフリールートについてスマートフォンを通じてナビゲーションするなど、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及展開を目指し、バリアフリー・ナビプロジェクト（ICTを活用した歩行者移動支援）を推進しています。

このようなサービスを実現するためには、歩行空間における段差や幅員、勾配等のバリアフリーに関する情報をデータ化する必要があるため、国土交通省は2017年9月4日に、歩行空間のバリアフリーに関する情報をデータ化するツール「歩行空間ネットワークデータ整備ツール（試行版）」（以下「本ツール」）の提供を開始しました。

【概要】

本ツールは、タブレット等の携帯情報端末上で歩行空間のバリアフリーに関する情報を入力し、歩行空間ネットワークデータ（※）としてデータ化することができます。従前はデータ作成に際して、現地調査した結果をオフィスに持ち帰りパソコン上のGISソフトで入力する必要がありましたが、本ツールでは、現地調査と並行して現地で簡易的に情報の入力、データ化を行うことができます。

※) 歩行空間の形状に合わせてノード（点）とリンク（線）を配置し、属性として段差や幅員等の情報を持たせてデータ化したもの。歩行者向けのナビゲーション等に用いられるデータ。

(参考：国土交通省ホームページ)

2017年9月4日報道発表（国土交通省政策統括官（国土・土地、国会等移転）付）

歩行空間のバリアフリーに関する情報をデータ化するツールを提供します！

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23_hh_000080.html

【本件と株式会社パスコの係わり】

パスコは、歩行空間における段差や幅員、勾配など、バリアフリーに関する情報を入力・データ化する「歩行空間ネットワークデータ整備ツール」を国土交通省の監修の下、共同で開発いたしました。

パスコはユニバーサル社会の構築に向けた活動として、本ツールの提供にも協力してまいります。使用を希望される方は国土交通省とパスコのいずれかの窓口申請をお願いいたします。なお、データ整備ツールは試行版であることから、国の機関、地方公共団体、大学等の研究機関に限り利用できます。

パスコは、これまでに「ICT を活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」や「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」の運営など、歩行者移動支援に関して継続的に支援してきました。今後も、地理情報に関する技術を活用し、歩行者移動支援サービスの普及促進に努めてまいります。

(参考) パスコの官公庁・自治体向けサービスについて

<http://www.pasco.co.jp/products/government/>

■データ整備ツールについて

詳細は参考資料を参照ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ <http://www.pasco.co.jp/>

(データ整備ツールの利用申し込み)

中央事業部 技術センター

空間情報コンサルタント室 Mail : kuukan_joho@pasco.co.jp

TEL : 03-6412-2911

(報道機関) 広報部

TEL : 03-3715-1048

プレスリリースの内容は発表時のものです